

2022年9月27日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2022年 9月26日 基準価額(円)	2022年 9月27日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ツインα・コース	377	355	▲22	▲5.84
シングルα・米ドルコース	1,405	1,327	▲78	▲5.55

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2022年9月22日	2022年9月26日	騰落率 (%)
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	32.20	29.29	▲9.04

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、9月22日と9月26日を比較しています。

	2022年9月22日	2022年9月26日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	142.10	144.35	1.59

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、9月22日と9月26日を比較しています。
為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレート(単位:円)です。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

先週、米国で政策金利を0.75%引き上げて3.00～3.25%とすることが決定されたことに続き、英国やスイスなどでも利上げが決定され、各国において積極的な利上げが景気後退(リセッション)につながるとの懸念が強まる中、英国で発表された大型減税がもたらす国債増発やおさまらないインフレへの警戒感や、英国や欧米の国債利回りが大幅に上昇したことなどから、主要国の株式市場が下落し、9月23日と26日にブラジル株式市場も大幅に下落しました。また、世界的な景気減速懸念を背景に、原油など国際商品価格が下落したこともブラジル株式の下落要因となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で大幅に下落しました。

◆今後の見通し

世界的なインフレ長期化への懸念を背景に、欧米やアジアなどの各国で中央銀行が金融引締めを継続しており、米国では9月20日から21日にかけて開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明文で利上げの継続が適切であるとされ、さらなる利上げが示唆されました。また、米国の製造業や消費者のマインド、住宅関連の経済指標に軟調な様子が散見され、金融引締めが世界的な景気減速につながるとの懸念が燦るため、当面は株式市場では変動性の高まる展開が続くと見込まれます。一方、米国の経済指標の中にはインフレの落ち着きを示すものも散見され、雇用の堅調さが継続しており、各国でも内外における経済活動が企業業績の支えになると見込まれることなどから、過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では、株式市場が落ち着きを取り戻すとみています。

ブラジルにおいては、他国に先行して昨年からの利上げを継続してきましたが、インフレ率が低下傾向にあることなどから、9月に開催された金融政策決定会合で政策金利の据え置きが決定されました。各国における金融引き締めを背景とした景気減速懸念などから、原油など国際商品の需要の減少が意識されやすい状況にあります。ロシア産原油の供給について不透明感が根強く、主要産油国の増産ペースも緩やかなものにとどまるとみられることなどから、原油価格は当面上下に振れながらも大幅な下落には至らないと想定されます。また、10月に大統領選を控え、現職のボルソナロ大統領やルラ元大統領などの有力候補者が、インフレ対策、税制改革、福祉の充実などに言及しており、これらの政策の実現がブラジルの経済成長およびブラジル株式市場のサポートとなると期待されます。中長期的な観点では、若年層の構成比が高い人口構造を有するブラジルでは、国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、株式市場は成長軌道に乗っていくとみています。

以上

※ iShares® (iシェアーズ®) はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資家の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額の0.55%** または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年1.98%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。